#### 他都市公立ホール施設における施設管理運営費の事例

- 施設管理費(維持管理費および人件費)の参考とする事例として、本市音楽ホールが機能・事業・施設面など総合的な手本事例としている3施設(札幌市民交流プラザ、東京文化会館、兵庫県立芸術文化センター)と、近年開館し規模・性質の類似する高崎芸術劇場を挙げる。
- 事業費および貸館収入・事業収入については、上記に掲げた手本事例3施設に加え、日本のトップレベルの劇場・音楽堂等を支援する制度である「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」の対象施設(令和4年度現在)のうち、規模や主とする分野が本施設と近似する新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)、ミューザ川崎シンフォニーホール、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールを参考事例の対象とする(東京文化会館、兵庫県立芸術文化センターも同支援事業の対象施設)。

#### 【留意事項】

単館としての具体的な数値を公表していない施設が多く、以下では様々な資料・情報源を踏まえたおおまかな推定値を記載している。また、平成29年度~令和4年度のうち5年程度の平均像として概要を把握し、記載している。

#### (1)札幌市民交流プラザ

#### ①概要

概  要
札幌芸術劇場 hitaru (2,302 席)、クリエイティブスタジオ (448 ㎡)、
中小練習室など
札幌文化芸術交流センターSCARTS、スタジオ (82 ㎡×2)、コート (165 ㎡)、
ミーティングルーム、モール(60 ㎡×3)など
延床面積 37,332 ㎡、建築面積 再開発事業
約 56 名
約 70 万人
平成 30 年(2018 年)
(公財)札幌市芸術文化振興財団
新国立劇場との連携協定締結館

項目		概	要		
%管理運営費	約 14 億円				
収入	指定管理料	約 9.0 億円			
	利用料金	約 2.3 億円			
	事業収入	約 2.4 億円			
	その他収入	約 0.3 億円			
支出	公表されていないが、	事業費は3~4	. 億円程度、	管理費が 10~	~   億程度
	《管理運営費 収入	総管理運営費 約 14 億円 収入 指定管理料 利用料金 事業収入 その他収入	総管理運営費 約 14 億円 収入 指定管理料 約 9.0 億円 利用料金 約 2.3 億円 事業収入 約 2.4 億円 その他収入 約 0.3 億円	総管理運営費 約 14 億円 収入 指定管理料 約 9.0 億円 利用料金 約 2.3 億円 事業収入 約 2.4 億円 その他収入 約 0.3 億円	管理運営費約 14 億円収入指定管理料約 9.0 億円利用料金約 2.3 億円事業収入約 2.4 億円その他収入約 0.3 億円

## (2)東京文化会館

## ①概要

項目	概  要
構成施設	大ホール (2,303 席)、小ホール (649 席)、リハーサル室、音楽資料室、会
	議室など
規模	延床面積 22,568 ㎡、建築面積 10,473 ㎡
組織人員	約 43 人
入場者数	公演来場者のみ 約30万人
開館	昭和 36 年 (1961 年)
指定管理者	(公財)東京都歴史文化財団
特記	東京都交響楽団事務所・リハーサル室等有する
	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業対象館

### ②管理運営費概要

### (※下記は東京都資料、歴史文化財団資料等から想定)

	(***   ******	
項目	概	要
総管理運営費	約 13 億円 (施設管理運営のみで 10 億円程度、打 源により 3 億円程度の事業を実施し	指定管理料に事業費は含まれず、その他財 ていると想定される)
収入	指定管理料 利用料金収入 助成金・協賛金、補助金等 事業収入 その他付帯事業収入	約 6.0 億円 約 4.0 億円 約 1.5 億円 約 1.0 億円 約 0.5 億円
支出	管理費(人件費含) 事業費	約 10.0 億円 約 3.0 億円

# (3)兵庫県立芸術文化センター

### ①概要

111000	
項目	概  要
構成施設	大ホール (2,001 席)、中ホール (800 席)、小ホール (417 席)、リハーサル
	室、練習室など
規模	延床面積 33,100 ㎡、建築面積 10,500 ㎡
組織人員	約 52 人
入場者数	観客 50 万人 その他事業参加・来館者含め約 70 万人
開館	平成 17 年(2005 年)
指定管理者	(公財)兵庫芸術文化協会
特記	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業対象館

項目		概  要
総管理運営費	約 33 億円	
収入	指定管理料等	約 16.0 億円(一般財源、基金含み)
	利用料金収入	約 2.0 億円
	事業収入	約 14.0 億円
	助成金等収入	約 I.0 億円
支出	管理費(人件費含)	約 10.0 億円
	事業費	約 16.0 億円
	専属楽団費	約 7.0 億円

## (4)高崎芸術劇場

# ①概要

項目	概  要
構成施設	大劇場(2,027 席)、スタジオシアター(スタンディング 1,000 人、568 席)、
	音楽ホール(412 席)、リハーサルホール、創造空間など
規模	延床面積 27, 204 ㎡、建築面積 8,814 ㎡
組織人員	約 48 人
入場者数	観客·施設利用者 約 18 万人
開館	令和元年(2019年)
指定管理者	(公財)高崎財団
特記	群馬交響楽団の本拠地

### ②管理運営費概要

項目		概要
総管理運営費	約 16 億円	
収入	指定管理料	約 12.5 億円
	利用料金収入	約 1.1 億円
	事業収入および協賛金等	約 2.4 億円
支出	管理費(人件費含)	約 9.9 億円
	事業費	約 6.1 億円

# (5)新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)

# ①概要

項目	概  要
構成施設	コンサートホール(1,884 席、最大 2,000 席)劇場(903 席)、能楽堂(387
	席)、展示室、スタジオ、練習室など
規模	延床面積 25,100 ㎡、建築面積 10,650 ㎡
組織人員	約 55 人
入場者数	約 25~30 万人
開館	平成 10 年 (1998 年)
指定管理者	(公財)新潟市芸術文化振興財団
特記	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業対象館

項目		概  要
総管理運営費	約 12 億円	
収入	指定管理料	約 6.7 億円
	利用料金および事業収入	約 3.0 億円
	助成金等	約 0.5 億円
	補助金等	約1.3億円
	その他収入	約 0.5 億円
支出	管理費(人件費含)	約 6.7 億円
	事業費	約 5.3 億円

# (6)ミューザ川崎シンフォニーホール

## ①概要

項目	概  要
構成施設	音楽ホール (1,997 席)、音楽工房、練習室、企画展示室など
規模	延床面積 17,240 ㎡、建築面積 再開発のため概 9,600 ㎡
組織人員	財団職員約20人(顧客サービス、舞台技術関連は除く)
入場者数	音楽ホールのみ約 24 万人
開館	平成 16 年(2004 年)
指定管理者	(公財) 川崎文化財団グループ (サントリーパブリシティサービス・シグマ)
特記	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業対象館

### ②管理運営費概要

項目		概要	
総管理運営費	約 12 億円		
収入	指定管理料	約 7.3 億円	
	利用料金収入	約 I.4 億円	
	事業収入	約 2.0 億円	
	助成金等収入	約 I.3 億円	
支出	管理費(人件費含)	約 6.5 億円	
	事業費	約 5.0 億円	
	その他支出	約 0.5 億円	

# (7)滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

## ①概要

項目	概  要		
構成施設	大ホール (1,848 席)、中ホール (804 席)、小ホール (323 席)、リハーサル		
	室、練習室など		
規模	延床面積 29,264 ㎡、建築面積 13,960 ㎡		
組織人員	約 50 人		
入場者数	約 30 万人		
開館	平成 10 年(1998 年)		
指定管理者	(公財)びわ湖芸術文化財団		
特記	劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業対象館		

項目		概要	
総管理運営費	約 16 億円		
収入	指定管理料	約 10.0 億円	
	利用料金収入	約 2.0 億円	
	事業収入	約 2.5 億円	
	補助金・助成金等収入	約 I.5 億円	
支出	維持管理費	約 6.0 億円	
	人件費	約 3.4 億円	
	事業費	約 6.0 億円	
	その他支出	約 0.6 億円	

#### ≪総括表≫

■支出

(金額の単位は億円)

	延床面積 (㎡)	総支出	管理費支出	事業費支出	その他支出
札幌市民交流プラザ	37, 332	14.0	11.0	3.0	-
東京文化会館	22, 568	13.0	10.0	3.0	-
兵庫県立芸術文化センター	33, 100	33.0	10.0	16.0	7. 0
高崎芸術劇場	27, 204	16.0	9.9	6.1	-
新潟市民芸術文化会館	25, 100	12.0	6.7	<b>5.</b> 3	-
ミューザ川崎シンフォニーホール	17, 240	12.0	6.5	5.0	0.5
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	29, 264	16.0	9.4	6.0	0.6

■収入 (金額の単位は億円)

	延床面積 (㎡)	指定管理料 収入	指定管理料 以外の 総収入	貸館収入 (利用料金 収入)	事業収入	助成金・ 補助金等 収入	その他 収入
札幌市民交流プラザ	37, 332	9.0	5.0	2.3	2. 4	ı	0.3
東京文化会館	22,568	6. 0	7. 0	4. 0	1.0	1.5	0.5
兵庫県立芸術文化センター	33,100	16.0	17.0	2.0	14.0	1.0	-
高崎芸術劇場	27, 204	12.5	3.5	1.1	合計	- 2.4	-
新潟市民芸術文化会館	25,100	6. 7	5.3	合計	- 3. 0	1.8	0.5
ミューザ川崎シンフォニーホール	17, 240	7.3	4. 7	1.4	2. 0	1.3	-
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	29, 264	10.0	6.0	2.0	2.5	1.5	1

<sup>※</sup>着色部分が特に本施設の参考事例となる箇所

- ■管理費について、例えば新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)やミューザ川崎シンフォニーホールは、本市音楽ホールと規模面で近似しているが管理費は 6 億円台となっている。前者については平成 10 年 (1998 年) 開館の施設であり、近年の維持管理コストの上昇の影響を一定程度免れている可能性、後者については延床面積が小さいことが影響している可能性が考えられる。
- ■兵庫県立芸術文化センターは、事業費が 16 億円、事業収入についても 14 億円と飛び抜けており、 これらの項目において参考事例の対象から除外している。
- ■東京文化会館は、貸館収入が 4 億円と、他施設よりかなり高い。東京と他地域ではコンサート等の市場性が大きく異なることも考慮し、この項目において参考事例の対象から除外している。

# 【参考】 令和4年度現在の総合支援事業対象館(全国 16 館)

①新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)	採録
②彩の国さいたま芸術劇場	小規模ホール複合のため除外
③東京文化会館	採録
④東京芸術劇場	演劇中心であり、文化会館を入れたので除外
⑤サントリーホール	民間施設のため除外
⑥世田谷パブリックシアター	小規模ホール、演劇専用のため除外
⑦トリフォニーホール	再開発ビル内の特別区施設のため除外
⑧ミューザ川崎シンフォニーホール	採録
⑨神奈川県立県民ホール・神奈川芸術劇場	2 館連携による舞台芸術中心のため除外
⑩静岡県舞台芸術センター	演劇専用のため除外
①可児市文化創造センター	都市規模が小さいため除外(人口 10 万人以下)
②愛知県芸術劇場	劇場・音楽堂、美術館など大型複合のため除外
③滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	採録
⑭兵庫県立尼崎青少年創造劇場	演劇専用小規模施設ため除外
⑤兵庫県立芸術文化センター	採録
⑥北九州芸術劇場	1,200 席規模かつ演劇中心であるため除外